



2025 全国学力・学習状況調査結果分析

本年度4月17日(木)、全国一斉に全国学力・学習状況調査が実施されました。本号にて、本校第6学年児童の結果についてお知らせいたします。

なお、本調査の目的は、「義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善に役立てる。さらに、そのような取り組みを通じて、教育に関する継続的な検証改善のサイクルを確立する。」ことにあります。したがって、本校においても、今回の結果を深く分析し、今後の教育活動の改善に活かしてまいります。

	本校	山形県	全国
国語	◎	65	66.8
算数	▲	55	58
理科	—	58	57.1

←左表の見方(◎等は山形県との比較)

- ◎ 3ポイント以上高い
- ▲ 3ポイント以上低い
- 同程度(±1)

児童質問紙の分析より

◎ 優れていた点(全国・山形県平均より良好)

1 「あいさつをしている」児童の割合が高い

鈴川小：90.2%

全国平均：約85%

山形県平均：約83%

→ 他者との関わりや礼儀意識がしっかりしていることがうかがえる。自分たちのあいさつに、自信を持っている。常日頃あいさつをしていると思っている。

2 「家庭での読書習慣」が身についている

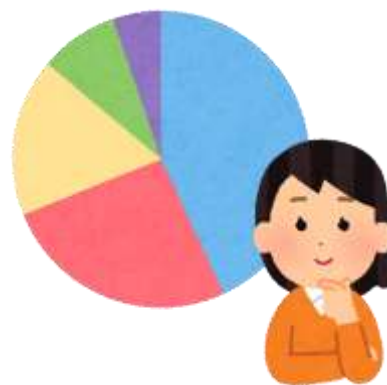
「ほとんど毎日本を読んでいる」：全国平均・山形県平均に比べて高め(例：鈴川小 57.3%)

→ 学力の基礎となる言語力や集中力の育成が、今後期待される。

3 「スマートフォンやタブレット等の利用時間が短い」児童が比較的多い

1日30分未満使用の割合が全国・山形県平均より高い傾向にある。

→ メディア依存の傾向が少なく、日常の生活習慣の安定に寄与していると思われる。



(個別では対応が必要な児童もいるが、全体としての傾向)

△ 改善の余地がある点

1 「朝食を毎日食べている」割合がやや低い

全国や山形県では90%を超えているが、鈴川小では若干下回る。

→ おたよりや懇談会などで話題にする。(朝食は、一日の活動エネルギーになる大事な食事である。)

2 「インターネット・ゲーム利用の時間が長い」児童が一部で見られる

全国・山形県平均より「2時間以上の利用がやや多い日もある」児童が一部で見られる。

→ 個別対応になるが、適切な利用ルールの見直し(家庭のルール)が必要である。

3 「困ったときに相談できる人がいない」と感じている児童が一定数いる

「どちらかといえばいない」「いない」と答えた児童の割合が、全国・県平均より高く無視できない。

→ 心の安心・つながりを感じられる支援体制づくり・校内での居場所づくりが急務である。

学力テスト(国・算・理)の分析より

【国語】

◎ 特に良かった点

知識に関する問題(B問題)において語句や語彙の理解が正確

- ・多くの児童が語句の意味を適切に捉え、文脈に即した使い方ができていた。特に、「目的や意図を読み取る」設問の正答率が高く、文章の大まかな構造把握に長けている傾向にある。

△ 改善が必要な点

自分の考えを文章として筋道立てて表現する記述問題

- ・特に「自分の経験や意見を根拠とともに述べる」設問では、主張と理由がかみ合わない回答が多かった。

◇ 改善のための学習方法(例)

- ・短い作文活動の継続(日記・意見文・感想文など)を通して、主張→理由→具体例の構成を繰り返す。
- ・友達同士で意見交換し、相手に伝わる言い方を意識させる活動(話す→書くへの橋渡しの活動)を取り入れる。

【算数】

◎ 特に良かった点

数や計算に関する基本的な技能(四則計算、単位換算など)が安定

- ・「基礎的計算問題の正答率」が全国平均を上回っており、日常的なドリル学習の成果がうかがえる。

△ 改善が必要な点

文章題や図形に関する思考力を問う問題でのつまづき

- ・特に「与えられた条件を整理し、数直線や図を用いて関係をとらえる問題」で、途中式や根拠のない解答が多かった。

◇ 改善のための学習方法（例）

- ・条件整理の学習（文章を図や表に置き換える経験）や、友達と考え方を説明し合う活動を導入する。
- ・なぜその答えになるのかを言葉で説明する学習を積み重ねることで、論理的な思考力を養っていく。

【理科】

◎ 特に良かった点

実験や観察の結果を読み取り、事象を比較・分類する力

- ・特に「観察結果の整理」「表やグラフの読み取り」「差異の発見」といった分析的思考に優れていた。

△ 改善が必要な点

結果から考察し、原理や仕組みを言語化する力

- ・理科的な見方・考え方を言葉で説明する設問（例：「なぜ～になるのか？」）において、因果関係の記述に乏しさが見られた。

◇ 改善のための学習方法（例）

- ・実験結果の「まとめ」や「考察」をノートに書く活動を充実する。
- ・「もし～だったらどうなる？」という仮説立てや予想をペアやグループで言い合う活動を取り入れ、考えの根拠を説明する経験を積む。

10月の行事予定



1日（水）	1,2年秋探し（自然の家）	22日（水）	山形市吹奏楽発表会
2日（木）	就学時健診	23日（木）	4年ヨシアキすくー、クラブ活動
6日（月）	5年キャリア教育（山形工業高校へ）	24日（金）	いのちの日、児童会代表委員会
7日（火）	スポフェス全体学習①	29日（水）	6年修学旅行①、3年社会科見学 5年邦楽教室
9日（木）	スポフェス全体学習②	30日（木）	6年修学旅行②
10日（金）	5年職業体験	31日（金）	4年社会科見学②
15日（水）	スポーツフェスティバル		子どもたちの日々の学習や暮らしの様子などを、 学校ホームページでお知らせしています！ ぜひご覧ください。
17日（金）	校内研究全体研（6年3組）		
20日（月）～11月10日（月）	山形大学大学院生：教育実習		
21日（火）	全校朝会（校長講話）		

<https://www.suzukawa-e-yimgt.ed.jp/>

